

Pete Cooper Japan Tour 2010

2008年来日時、コンサートおよびフィドル・ワークショップにおいて大好評を得たピート・クーバーが、2010春、再来日決定！
今回は自身の率いるバンド、「ラトル・オン・ザ・ストーヴパイプ」のメンバーをたずさえてのコンサートも予定。
世界中の数々の名だたる伝統ミュージシャン達との交流や、各地の伝統音楽フェスティバルへの参加出演を重ねつつ
伝統音楽への探求を続けてやまないピート・クーバーによる、魅惑的な伝統音楽の世界をぜひとも堪能しよう！

ピートクーバー日本語公式サイト：<http://music.geocities.jp/petecooperjapan/>



Pete Cooper ピート・クーバー

フィドル・プレイヤー、London Fiddle School主宰。
フィドル教師、作曲家、フィドル音楽ライターとしても活躍。
執筆を手がけたCD付フィドル教則本著書に、「Mel Bay's Complete Irish Fiddle Player」(1995年出版)、「Irish Fiddle Solos」(2004年出版)、「English Fiddle Tunes」(2006年出版)、「Eastern European Fiddle Tunes」(2007年出版)、「American Old Time Fiddle Tunes」(2009年末出版予定)などがある。



London Fiddle Schoolの風景

1951年、イングランドの東部スタッフォードに生まれる。オックスフォード大学卒業。
1970年代、アントリウム県出身のSean McLaughlinの元でアイルリッシュ・フィドルを習得し、以来、
アメリカン・オールド・タイム、スカンジナビア、ケイジャン(カナダ)、ノーサンバラン(イングランドと

スコットランドの境)、フランス、ハンガリーなどの伝統音楽のミュージシャンから音楽を収集し、幅広いジャンルと数多くのレパートリーを携えて演奏活動を行っている。

1980年代以降はフォーク・スタイルのフィドルについての研究、およびその教授法の研究に専念し、ソロ・アルバム「All Around The World」(1990年・現在絶版)では、アイルランド、スカンジナビア、東欧、アメリカの音楽をフューチャーし、また、アルバム「The Wounded Hussar」(1993年)では多種多様な伝統的アイルリッシュ曲を盛り込んでいる。

演奏活動ではソロでのギグのほか、キャスリン・ロックやジェフ・クームスと一緒に結成したグループ「Vivando」でも活躍。近年は、バンド「Rattle On The Stovepipe」での活躍のほか、チェリストのRichard Boltonと最高のパートナーとして新たな芸術美を追求した音楽を創り上げており、「Cooper & Bolton」、「Turning Point」などを発売。

クーバー氏による数々のフィドルの教則本や曲集のなかでも、特に「Mel Bay's Complete Irish Fiddle Player」(Mel Bay Publications)は、ポウイングや装飾音を付け加えた解説つきのわかりやすい教則本として大ヒットした。

一方においてはMusical Tradition誌およびFolk Roots誌におけるレビュー(評論家)としての活躍や、映画音楽の提供など、演奏、作曲、教授、執筆と、フィドルミュージックに幅広く携わっている。



生徒との個人レッスンにて



Rattle On The Stovepipe ラトル・オン・ザ・ストーヴパイプ

ブリテン諸島とアパラチアン山脈を自在に行き交う、トランスアトランティック・サウンド。

2006年に1stアルバム「8 More Miles」を発表、2009年末には2ndアルバム「No Use In Cryin」をリリース、さらに2010年春にはこれまでのベストを集めたコンピレーション・アルバムの発表を予定している。
Rattle On The Stovepipeは、ブリテン諸島とアパラチアン山脈の伝統的なダンス曲やバラッドを演奏する、イギリス国内では知る人ぞ知る大人気の実力派トリオであり、イギリスのトラッド音楽界重鎮、シャーリー・コリンズも大絶賛しているほど。アメリカとイングランドの曲の切り替えが実に心地よく、繊細さと優しさの中にユーモアをも交える、非常に魅力的なバンドである。ちなみにバンド名は「ストーブから伸びた排気パイプがカタカタと鳴っている音」のこと。

Rattle on the Stovepipe:

(左から) ピート・クーバー (フィドル、ボーカル)
デブ・アーサー (5弦バンジョー、メロディオン、ギター、ボーカル)
ダン・スチュワート (5弦バンジョー、ギター、ボーカル)



「8 More Miles」
2006 (現在Sold Out)



「No Use In Cryin」
2009



フランス・トロワにて、演奏会の様子



アメリカン・オールドタイムの伝説的プレイヤー、Tom Paley(中央手前)とのセッション

ピート・クーバー氏によるアイルリッシュ・フィドル教則本が、来日に合わせて2010年春に刊行予定！

2010年春、ピート・クーバー氏によるアイルリッシュ・フィドル教則本「Mel Bay's Complete Irish Fiddle Player」の日本語翻訳本がアルテス・パブリッシングより発売予定です。お楽しみに！

Tokyo Fiddle Clubでは、ピート・クーバー氏のテキストを使ったレッスンを行っています。

ご予約・お問い合わせ：[Tokyo Fiddle Club](http://www.tokyo-fiddle-club.com/) ピート・クーバー日本語公式サイト 申込フォームより承っております。

<http://music.geocities.jp/petecooperjapan/>

Tel: 050-3349-9126(11~17時)

主催：[Tokyo Fiddle Club](http://www.tokyo-fiddle-club.com/) <http://www.geocities.jp/fiddletamiko/index.htm>

コーディネーター&マネジメント担当：Tamiko (Tokyo Fiddle Club主宰)

協力：アイルランド政府観光庁